

令和 4 年 7 月 1 5 日

高根地区第 2 回学校運営協議会会議録

本高根地区第 2 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	7 月 1 5 日 (金) 1 0 : 0 0
場 所	日高市立高根小学校
出 席 者	柳沢孝・日野高行・行成美知代・渡辺壽生・田野正章・ 小倉恵美子・阿部一智・松本康彦・原政幸・三芳雅彦 (日高市教育委員会) 小坂井啓二・藤田剛典 (事務局) 阿部武晴・志村憲一
欠 席 者	大澤泰彦・市村誠志
審 議 事 項 及び決定事項等	1 第 1 回小中連絡会報告 【決定事項等】 2 地域学校協働本部について 【決定事項等】 3 義務教育学校開校に向けての施設・設備の最終確認 【決定事項等】
会 議 資 料	1 「地域学校協働活動」とは 2 地域学校協働本部について 3 高根小中一貫校校舎図
会 議 の 経 過 市教育委員会	1 あいさつ コロナ禍の中、お集まりいただき、感謝する。本日も有意義な協議会となるようお願いする。 地域学校協働活動の話をする。学校運営協議会は今年度で 3 年目となった。先進的な取り組みができていると自負している。地域学校協働活動についても推進したい。今まで、学校ボランティアに学校がお願いして色々やってもらっていた。今度は、学校と地域で協力して地域作りを進める。資料にある具体的な取り組み例を見ると、登下校の見守り、学校周辺環境整備など、今までやってきた取り組

	<p>みであり、今までと何ら変わらない。「緩やかなネットワーク」という言葉がキーワードで、より多くの地域住民、団体が参加できるように横のつながりを広げる。社会に開かれた教育活動の実現に向けて学校と地域の協働体制を構築する。コミュニティスクールと地域協働活動を一体的に進める。地域学校協働活動推進員は地域と学校をつなぐコーディネーター。両校長と公民館の推薦できめる。これらは全て法に則っている。イメージ図にあるように学校運営協議会と地域学校協働活動を車の両輪で進めていく。それぞれの地区でその地区のやりやすい形で地域学校協働活動を進めてほしい。</p>
<p>原校長</p>	<p>例年より早い梅雨明け、猛暑が続く中、地域ボランティアの方に硬筆の添削をしてもらった。県展に出品し書写書道連盟賞をもらった子がいる。田植えも無事に済みました。ハートフルレッズでレッズの OB、コーチ4人の方がサッカー運動の指導を受けた。良い交流ができた。本日も3つの大事な協議がある。宜しくお願ひしたい。</p>
<p>三芳校長</p>	<p>コロナ禍の隙間を縫って何とかやってこれた。あと少しで1学期が終わるが、皆さんのおかげで、旅行的行事も無事終えられた。どの行事でも行程に書かれたとおり、時間通りに行動できた。学校総合体育大会も無事終えた。県大会は陸上で1年生が1人出場する。本日も宜しくお願ひしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど小坂井先生が話題にしていた地域学校協働本部についても協議することになる。宜しくお願ひしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>2 協議 ・第1回小中連絡会報告 第1回の小中連絡会を6月27に行った。始めに学力部会、2つの徳力部会(特別活動部会と生徒指導・教育相談部会)、体力部会、小中一貫推進部会の5つに分かれて、顔合わせを行った。その後は、各教科ごとに小中の先生と一緒に中学校の施設を見ながら、小中一貫に向けて、移動すべき備品等の確認作業を行った。教育総務課の方も3名一緒にみてもらった。8月30日第2回の小中連絡会では、小中一貫校の先進校である坂戸市立城山学園校長の荻野智子先生を招いての講演会を予定している。</p>

委員 阿部教頭 三芳校長	講演会の対象は誰か。 高根小中の職員。 学校運営協議会委員の皆様もどうぞ。
委員	<p>・地域学校協働本部について</p> <p>資料を使っての説明</p> <p>学校運営協議会と地域学校協働本部は車の両輪のイメージで。学校運営協議会は大きな方針を決める器。地域学校協働本部は実際に活動している様々な団体、個人。今までの学校ボランティアや見守り隊なども地域学校協働本部に含まれる。今までは、学校から直にこうした団体をお願いをしてきたが、地域学校協働本部では、推進員が学校からの要望を伝えたり、逆に団体や個人から「私たちは、こんなことができ学校を援助できる」と言うような申し出を学校に伝える橋渡し役をする。何かあったらお願いできる人的ネットワークを作っておきたい。</p>
委員	今まで自分が理解していたものとイメージが違うので、自分なりに考えを整理してみた。今まで地域学校協働本部は各団体の代表者の集まりだと思っていたが、協働本部は実際に活動する団体全てを指す。代表者ではなく、活動する個人、団体の全てを指しているという理解で良いか。
市教育委員会	はい。
委員	一応、私はこのような理解で、地域学校協働本部の連絡室のようなものを学校におきたい。
市教育委員会	全く委員さんの考えで正しいと思う。逆に各地域ごとの理解で良いので、正しいも間違いもない。各地区の実情に応じてやってもらうのが良い。
委員	これから協力してもらう人に理解してもらうには、今までの理解通り、本部は代表者の意味の方がわかりやすいと思えるが。また協働活動を行っていく上でかかる費用の対応についてはどうするのが良いか。
市教育委員会	ボランティアになる。
委員	環境整備にかかる道具などの費用はどうか。
三芳校長	学校にあるものを使うしかない。
原校長	ゴミ拾い活動のゴミ袋とか草刈り機のガソリンなどのことを心配しているのだと思う。

委員	花いっぱい活動などをやりたいときの花を買うお金などもどうするか。
委員	行政にもお願いできるのではないか。
三芳校長	行政に予算を要求すると来年度になると思うが、今年度のうちに予算要求すれば出してもらえるのか。
市教育委員会	地域学校協働本部の推進員会議で予算要求してもらうのがよい。
志村教頭	地域学校協働本部の対象となるような団体や個人に説明する場を設けるべきか協議してほしい。
原校長	今までやってもらっている活動が地域学校協働本部の活動に位置づけられることを理解してもらう必要がある。
委員	学校ボランティアの方や自治会の人たちが対象か。
志村教頭	説明する場はあった方がよいということが確認できたので、どんな人を集めて説明するのかなどの具体的なことは、公民館と推進員の方で進めてもらう。
志村教頭	・義務教育学校開校に向けての施設・設備最終確認資料を用いて説明。
委員	2階の通級教室は、外から直接入れるようにしないと。
志村教頭	直接入れる外階段をつけてもらうように確認してみる。
	連絡
	・コミュニティスクールフォーラムについて
	・高根郷講座について